下水道を考える

— 5 —

おくれている下水道整備

本市の下水道は、昭和二十七年度着手以来二十数年を経ております。しかしその整備状況は残念ながら全国平均にまで達しておりません。その理由としてはいろいろ考えられますが、まず、三十九年の新潟地震による災害復旧のため三か年、下水道整備を中止しなければならなかったことがあげられます。次に、本市の地盤が非常に軟弱であることや地下水が高いため、費用のかかる特殊な工法を採用しなければならないことも無視できません。本市の地形と街地の形成状態が下水道計画のうえで非常に効率が悪いことが大きな原因となっているといえます。

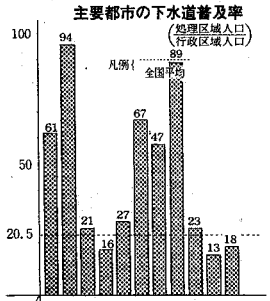
下水道の普及状況を表わすのに「普及率」が用いられます。四十九年度末における総人口に対する処理（水洗便所が設置可能）人口の割合は、全国平均が二十・五パーセントですが、新潟市は県庁から下手の船見処理区の十六・二パーセントで、現在建設を進めている中部下水処理場が運転されるまでは、総人口は増えるいっぽうですので、普及率は年々低下することとなります。

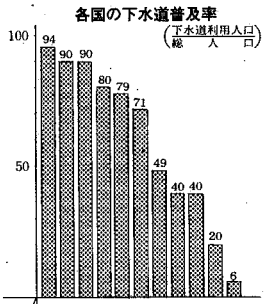
また、市街地面積に対する排水（直接下水管によって排水される）面積普及率は、全国平均二十五・五パーセントに対して、本市は二十三パーセントという状況です。

本市のように市街化した後から下水道を整備していこうとすれば、交通上の問題を解決したり、建築物の被害を防止する対策が必要となりますし、そのうえ道路にはほとんど舗装されていますので、建設量はますます高くなり、その分だけ整備がおくれるという悪循環が生じております。

従って、今後下水道普及率を上げていくためには、下水道事業費をさらに伸ばしていかなければならなくなってきます。

お願い　記事の内容について、意見や提言、要望などをお寄せください。住所氏名、電話番号を明記ください。





市長随想

いま市政懇談会をやっている。夜七時から二時間ではあるが、これが連日となると、いささか疲れるが、集まってくれる市民の熱心な姿をみると私も元気がでる。

市民とヒザつきあわせて意見、要望をきき、私の考えも率直に述べていくのであるが、私自身もいろいろの形で積み重ねられることによって、いわゆる〝まちづくり〟が「市民の手によって行われるのであるが、私自身もずい分勉強させられるし、参加者にも市政の現状などについて理解を深めてもらえるものと思っている。

このような交流がいろ

市政こんだん会雑感

新潟市長　川上喜八郎

ことを期待するのである。

それにしても解決すべき問題が多い。おおよそわかっている問題が多いのであるが、現地で聞くと迫力があることも事実である。

すぐにでもやらねばならないと思うこともしばしばあるが、そのことばを口から出せない〝もどかしさ〟を感じることもまた事実である。〝まちづくり〟は時間がかかるなと思う。

地域によって問題の所在が異なる。同じ項目でも内容が異なる。当然のことである。中野小屋で は〝過疎〟ということばを聞いた。学校問題を例にとっての話しであったが、なるほどと思った。

この新潟市で、と思うのだが、その認識でとり組まなければならない部分もあることを知った。

この懇談会は中学校区単位で、もっと細分したいところだが、これは毎年継続することによって解決したいと思っている。

市消費者協会会員募集

消費者には、選ぶ権利、知る権利、安全を求める権利、意見を言う権利があります。

それにもかかわらず大切な家庭の経済や、衣・食・住、の生活が脅やかされたり侵されたりすることが起きてきます。

これは消費者が必要な知識をもち、公正な判断にもとづく組織された力を持たないからです。

そのため昨年、新潟市消費者協会を設立させました。

お互いの生活の安定と、安全を願う運動を大きく前進させ、企業にも行政にも対等の地位を築くために、どうぞあなたの尊い力も加えてください。

協会の活動

一、講演会、講習会、見学などの研修。

二、商品テストや商品の改善、開発。

三、業界や行政との懇談会、書をお出しください。

四、消費生活向上の調査や情報の配布など。

会費　年額六百円。

入会申し込み　市生活課内協会事務局（内線三七五番）へ会費を添えて申し込み

（消費者の意見反映）。

善意の救急車が配備

新潟市消防本部に、これも善意の寄贈によるものです。

寄贈したのは創業30周年を迎えた市内の山下家具店、他の一台は住友生命からです。

同型の近代装備をもった救急車で千八百cc、九十五馬力の新鋭、無線機、薬品器材、マジック・ギフス、酸素吸入装置など救急装置を備えています。

写真＝市消防本部に寄贈された二台の救急車

阿賀の魚に要注意!!

「昭和五十一年度阿賀野生息魚類の水銀保有量結果（県環境衛生課実施）によりますと、阿賀野川のウグイ、ニゴイ、フナには水銀の暫定基準（ただし海水魚対象）を超えるものが見られます。

安全性の確保と予防的な意味から、次の点に十分なご注意をお願いします。

一、阿賀野川生息魚類をたくさん食べたり、常に食べることはさけてください。

二、特に底棲性で高齢魚（平均体重約九十グラム以上）の喫食はさけてください。

家庭園芸

ご相談は…
園芸センター（☎86—1034）へ

さつき

毎年植えかえを

さつきは、花後も植えかえの適期です。盆栽物は別として、毎年植えかえが必要です。用土は鹿沼土に水苔を二―三割混ぜればよいでしょう。水苔がない時、鹿沼土だけでもよく、腐葉を混ぜてもよいのですが、要は、潅水時に水がたまらない土なら大体良いといえます。鹿沼土を使う時は、微粒子を捨てることで、粒を砕いて使うことは避けて下さい。大粒のものは鉢底に入れます。水苔は鉢で細かく切って鹿沼土と混ぜます。古根は、丁寧に竹ベラでほぐして少し切りつめ、根を広げて浅植えとします。地植えのさつきは、花後直ぐ刈り込むことです。

ボランティア講座

※手話基礎講習会※

期日　6月17日～7月29日までの毎週木曜日
時間　午後1時半～3時半
会場　県社会福祉会館ボランティアコーナー（東中通1～86）☎(28)—5511
申し込み　6月12日までに　ことぶき荘内ボランティア・ビューロー（西大畑）
電話で　☎29—5518
定員　30　人
主催　ボランティアビューロー
後援　新潟県社会福祉協議会

身障者会員募集

研修とリクレーションを主体にした交わりを目的として活動しています。

総会を前に会員を募集して仲間を求めています。

対象　20才～40才までの身障者男女
申し込み　身障者連合会青年部　鈴木まで　☎　67—1486

総会・座談会の開催

日時　6月13日午後1時～4時
会場　身障者会館（水島町）

第2回専門講座

「さつき苗の選び方と鉢植の仕方」

日時　6月13日　午後1時半～3時半
会場　園芸センター
申し込み　電話でセンターへ☎86-1034番
講師　小合農協営農指導員　山田　豊
定員　80　人

町内子ども会 子どもグループ の団体登録を！

新潟県子ども会連絡協議会（県子連）が結成され、全国子ども会連合会（全子連）に加盟することになりました。

市でも子ども会連絡協議会（市子連）を組織して県子連、全子連に加盟しようとただ今準備中です。全子連に加盟しますと、子ども会の情報交換、連絡、指導者の養成・研修、また子ども会活動の安全保障などの特典があります。

下記のように市子ども会連絡協議会総会を開きますのでおでかけください。

●日時　6月16日　午後2時～4時
●会場　中央公民館5階ホール
●内容　市子連登録受け付けなど

なお年間経費は、1人あたり子ども及び20歳未満の指導者は50円、成人指導者は100円です。

下表の内容で登録を受け付けます。
※詳しくは市社会教育課青少年教育係へ

《新潟市子ども会連絡会登録票》

団体の名称		
代表者	（氏名）	（　歳）
	（住所）	（電話　）
	（職業）	（電話　）
事務連絡者	（氏名）	（　歳）
	（住所）	（電話　）
	（職業）	（電話　）
会員数	小学生　人、中学生　人、指導者	20歳未満　人 20歳以上　人

※県子ども会安全会に入会する時は会員名簿が必要です。